

## ”電動車いす”のことを 知ってください。

電動車いすには、  
障がいのある人たちの自立と社会参加への期待や思いが込められています！！



- 電動車いすは、障がい者にとって、自由に移動するための大切な手段です。
- 電動車いすによって、障がいのある人たちの行動範囲が飛躍的に拡大します。

この対応、どうでしょうか？

『危ないから、電源を切って介助者に押してもらってね』  
『床が汚れるから、こちらの手動の車いすに乗り移ってください。』  
『乗り物（電動車いす）のまま店に入らないで！』

- 電動車いすは、道路交通法上は「歩行者」です。
- 電動車いすはとても重く、電源を切って介助者が押すことは通常はありません。
- 電動車いすは、単に移動するための道具ではなく、使う人の身体の一部といっても過言ではなく、他の車いすに乗り移ることも通常はありません。

簡易型電動車いすの場合、手動に切り替えて介助者が押すこともあります。

### ここがポイント

電動車いすが危険であると決めつけ、排除するようなことがあってはなりません。

必要な配慮は一人ひとり違います。様々な場面でどのように配慮すれば障がいのある人も安全に、平等に利用できるのか、共に考える姿勢が大切です。

電動車いすでの利用について、何らかの不都合がある場合は、その理由を丁寧に説明し、ご本人と対話することが大切です。ご本人との十分な対話を心がけましょう。

## ”電動車いす”の種類

### ジョイスティック型（普通型）



ジョイスティックレバー1本で前進・後進・停止などが可能です。

大容量のバッテリーとハイパワーのモータにより、走行距離が長く、坂道や段差でも安心して走行できます。

ほぼその場回転に近い小回りが可能、屋内外とも使用できます。



ジョイスティックを倒す角度で方向や速度を調整

### 簡易型（切替式・アシスト式）：手動車いすに電動ユニットを装着



普通型に比べ軽量で、折り畳みが可能なものが多く、バッテリーをはずしてタクシー等のトランクに収納することも可能です。

バッテリーを装着したまま、車いすを折り畳む事ができる。バッテリーの重量は3～4kg程度。乗用車などに積載する時はバッテリーを取り外すことができます。

### ハンドル型（電動三輪・四輪車）



比較的大きなものもあり、バイク等の乗り物と同じと間違えられたり、小回りが利きにくそうに見えるため、店舗や交通機関の利用を拒否されることもあります。

前進・後進の切り替えで方向転換することができます。

日本では下半身が不自由な高齢者が多く使用しており、「シニアカー」「電動カート」とも呼ばれています。

これまで新幹線等の乗車が厳しく制限されており、海外からの利用者等は全く乗車できませんでしたが、海外における利用ルールなどを考慮し、基本的にはハンドル型電動車いすも、新幹線等に自由に乗車できるようになりました。（一定の構造要件あり）

## ”電動車いす” 使用者の日常

### 電動車いす

- ・ 電動車いすは、障がい者が本人の意思で自由に移動できる手段として開発されました。**電動車いすによって行動範囲や生活の幅が飛躍的に広がります。**
- ・ 日常的に使用するためバッテリーの容量も大きく、丸1日動き回っても大丈夫です。
- ・ 電動車いすは姿勢を維持しにくい方でも使用できるよう、**体型や身体的特徴に応じ**  
**てきめ細やかに設計**されており、その仕様は様々です。
- ・ 電動車いすは、単に移動するための道具ではなく、使う人の身体の一部といっても過言ではなく、通常、他の車いすに乗り換えることもありません。
- ・ 電動車いすの操作は使用する人が自ら行います。付き添い介助が必要な場合には、介助者が同行しますが、手動に切り替えて介助者が押すことは通常ありません。

### 電動車いすの生活風景



重度の障がい者の多くは家の中も、外出中もずっと車いすに乗ったままです。褥瘡になりにくいタイプのシートを使ったり、リクライニングやティルトの機能を付けたりと工夫しています。

寝ている時以外はほぼ電動車いすに乗っています。前輪駆動でかなり狭いところでもスイスイぶつかることなく動いています。電動車いすがなければ、身動きが取れません。



お出かけします！



雨の日もポンチョを着て外出できます！

新幹線にも乗ります！



## ”電動車いす”の正しい理解

### 電動車いすは危なくないの??

電動車いすを使用する障がい者は、日常的に使用し、使い慣れているので、物や他の人にぶつかったりすることはほとんどありません。

スピードも歩行者と同程度で、本人が操作スティックやハンドルから手を離すだけですぐに停止しますので、決して危なくはありません。

たとえ人の多い所であっても、本人と相談して、他の人が誘導するなど本人が移動しやすいよう配慮していただければ大丈夫です。

### 他のお客さんに迷惑をかけるのでは??

「電動車いすは危ない、迷惑」との考えから、利用を制限されることがよくありますが、電動車いすは、ほとんど音もせず、他のお客さんに迷惑になることはありません。

### 押す人（介助者）が居れば、手動の車いすに乗り換えることもできる??

電動車いすはその人の身体に合わせて作られており、一般的な手動の車いすでは姿勢の維持が困難であったりしますので、他の手動の車いすや座席への乗り換えを無理に求めないで下さい。また、介助者など本人以外の方が代りに操作することもできません。

### 電源を切って介助者が押すこともできる??

電動車いすは、軽いものでは20kg程度から重いものでは200kgほどあります。重いものは持ち上げて移動したり、手動に切り替えて介助者が押すことは想定されておらず、緊急時以外はありません。緊急時でも本人と相談して対応してください。

簡易型電動車いすは手動に切り替えることも想定されています。

### 電動車いすでは乗り物に乗れない??

電動車いすに乗ったまま、電車、ノンステップバスに乗車可能です。簡易型電動車いすは、折りたたんでタクシーなどに乗せることができます！

バッテリー部分を外す必要のないタイプのももあります。本人とよく対話して下さい。飛行機に乗ることもできます。（バッテリー部分の取扱方法が決まっており、それに基づいて対応します。）

### × こんな対応をしてはいけません ×

- × 電動車いすの電源を切って手動に切り替えて、介助者が押すように求める。
- × 他の人に危険だから、床が汚れるからと、手動車いすへの乗り換えを求める。
- × 入店をお断りしたり、貼紙などで受入の拒否を表明する。
- × 受け入れる条件として介助者の付き添いを求める。

## ”電動車いす” 利用者への配慮をお願いします

電動車いす利用者は、バリアフリーな場所での移動は容易ですが、生活の様々な場面において、困ることが多くあります。必要な配慮は、人によって違います。場面に応じて適切で丁寧な配慮ができるよう、本人に確認しながら対応しましょう。

( 困った場面の例          配慮の例 )

### 段差があると越えられない。

簡易のスロープを渡す。エレベーターの場所を案内する。  
周囲に呼びかけ協力して電動車いすを持ち上げる。など

### 高いところにある商品を取れない。

店員が店内を案内し、買い物の手助けをする。  
本人の代わりに店員を呼ぶ。高い場所にある商品を取ってあげる。  
困っていないか、手助けできることがないか、声掛けをする。など

### 店内が狭くて電動車いすが通れない。

商品の配列を変更して、通路や入口を広くする。

### 店員がその場におらず、手助けしてもらえない。

店員がいない場合でも、他のお客様などに手助けいただけるよう呼びかけるなどの配慮をお願いします。

### 電動車いすのまま利用できるテーブルを他のお客様が使っていて利用できない。

店員がそのお客様に了解をとったうえで席を替わっていただく。

### 固定いすしかなく、電動車いすのままテーブルにつけない。

移動可能なイスの席を設けていただきますよう、お願いします。

### バッテリーが切れてしまった場合は...

フル充電で丸1日は稼働できますが、外出途中等でバッテリーの残量が少なくなっ  
てしまった場合は、充電できるようご協力をお願いします。

( 通常のコンセントから充電が可能で、電気代もほとんどかかりません。 )

### 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」「インバウンド」への対応

- 大阪にはすでに多くの外国人観光客が訪れ、電動車いす利用者も増えています。
- 海外の電動車いすはジョイスティック型とハンドル型の区別はなく、対応に差はありません。
- 時速 10～12km 程度のものが主流で、速度制限を設けていない国が多いようです。
- もちろん、スピードが出るからといって、人混みの中を高速では走っていません。

## ”電動車いす”に関するQ&A

- 電動車いすの安全性は？

市町村が支給する電動車いすは「身体障害者総合支援法に基づく補装具」であり、支給条件には、「安全走行に支障がないと判断される」等が定められています。また、安全を確保するための操作訓練等も実施したうえで支給しており、危険なことはありません。

- 電動車いすは「車両」ではないのですか？

電動車いすは、道路交通法では「身体障がい者用の車いす」=「歩行者」として取り扱われており、スピードも歩行者とかわらず、「車両」ではありません。

- シニアカーと電動車いすの違いは何ですか？

いわゆるシニアカーも電動車いすの一種です。車体が比較的大きいため、乗り物と間違えて拒否されることもあります。拒否することなく他の電動車いすと同様に対応することが必要です。どのように対応すればよいか、本人と相談して下さい。

- 和室をご利用いただく場合、電動車いすはどのように対応したらいいですか？

電動車いすの車輪を拭いてそのままあがる、あるいは畳にビニールシートや段ボールを敷いて、電動車いすの通路を確保する方法があります。

- お店の構造上、電動車いすで入店できない場合はどうしたらいいですか？

入口に段差や溝がある場合は、スロープや渡し板を置いたり、何人かで少し持ち上げることで乗り越えられます。階段の場合は、従業員用や荷物用のエレベーターなどがあるなら積極的に利用してください。どうしても入店が困難な場合は、その事情をわかりやすく説明し、希望する商品を店員が運んでくる等の方法を本人と一緒に考えて下さい。

- 電動車いすの方が座席に乗り移ることで、乗り物に乗車できる場合、どのように説明したらいいですか？

電動車いすを使用する方は、その電動車いすでなければならない理由があることをまずご理解ください。その上で、どうしても座席に乗り移っていただく必要がある場合は、人の支えがあれば乗り移りが可能かも含めて、本人と対話して一緒に考えて下さい。

## 多様な”電動車いす”

ティルト式：電動で座席をティルトする（傾ける）ことができます。



（走行時）

（ティルト中）

（ティルト大）

ティルト角を大きくする事で、座部の体圧を背部にも分散する事ができ、体のズレ防止の効果もあります。

上下タイプ（電動リフト式）：電動で座席を上昇と下降ができます。



（走行時）

（下）

（上）

高所での作業から床面への移動も容易となります。立ち上がりの補助にも使用されることがあります。

チンコントロールタイプ：あごで操作できます。

- ・ 脊髄損傷の方などが使用しています。
- ・ 背パイプ側からチンアームを固定して、あご操作用の操作ボックスを固定します。
- ・ 操作方法はジョイスティックと同じですが、操作レバーがあご仕様に変更されています。



## 6輪タイプ



- ・ 駆動輪がほぼ中央にあるので少ないスペースで回転することができます。
- ・ 70cm 幅の廊下を曲がる事ができるものもあります。
- ・ 数 cm の段差は越えることができます。

## 前輪駆動タイプ



## ハンドル型（コンパクト）



折り畳みが可能

### 結びに

- ・ 障がいがあるから利用できなくても仕方がないのでしょうか？
- ・ 障がいがあってもなくても、誰もがともに生きられる社会をめざさなければなりません。
- ・ 「電動車いすは危ない、迷惑」との発想で障がいのある人の利用を拒否するのではなく、どのようにすれば他の人と同じように利用できるのか、一緒に考えてください。
- ・ 段差の解消など施設の整備は、すぐにはできないかもしれませんが、でも、ちょっとした工夫があればうまくいくことも多く、知恵を絞ってみんなで考えれば、きっと解決できるはずです。
- ・ 2016年に障害者差別解消法が施行されました。電動車いすとその使用者への理解がより一層深まり、あらゆる場面で受け入れられる共生社会が、一日も早く実現することを期待します。